

平成 27 年度 福祉のまちづくり講演会 アンケート結果

日 時：平成 27 年 9 月 19 日（土） 午後 2 時～午後 4 時

会 場：黒崎市民会館ホール

講 師：新潟医療福祉大学 教授 渡邊 敏文 氏

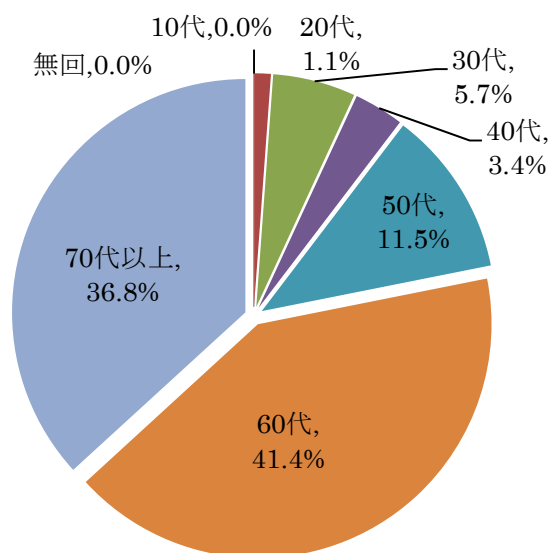
演 題：地域包括ケアシステムを通じた福祉のまちづくり
～ 高齢者を身近な地域で支えるしくみづくり ～

回収率：87%（参加者約 100 名，有効回答者数 87 名）

問 1 皆様ご自身のことをお聞かせください。

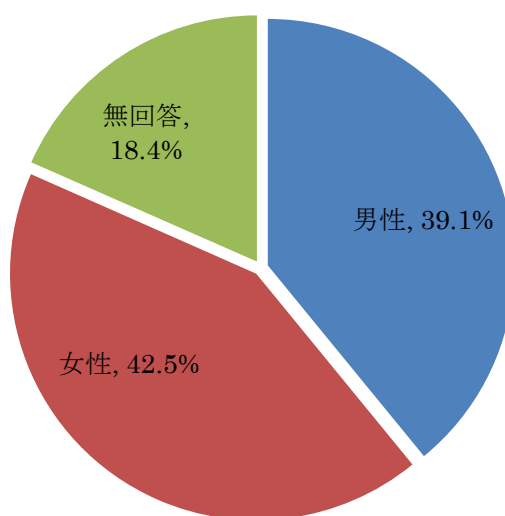
【年 代】

回答選択肢	回答者数	割合
10代	0	0.0%
20代	1	1.1%
30代	5	5.7%
40代	3	3.4%
50代	10	11.5%
60代	36	41.4%
70代以上	32	36.8%
無回答	0	0.0%



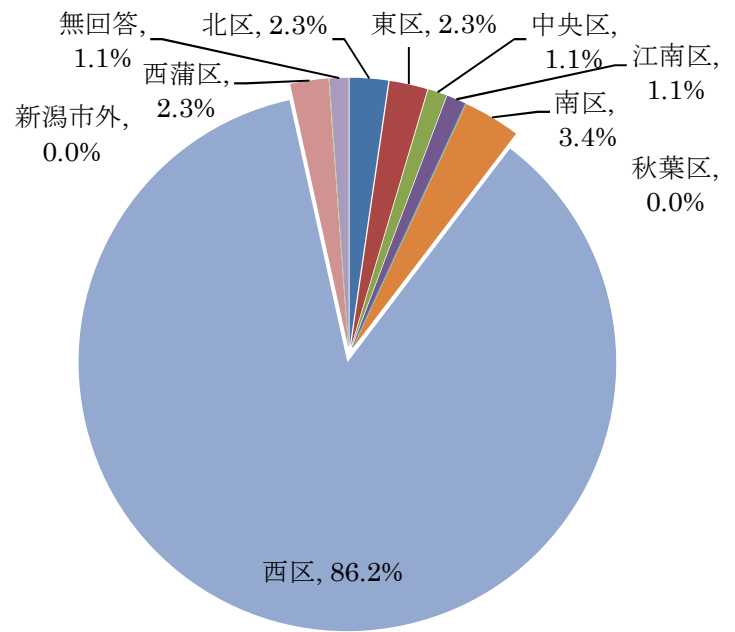
【性 別】

回答選択肢	回答者数	割合
男性	34	39.1%
女性	37	42.5%
無回答	16	18.4%



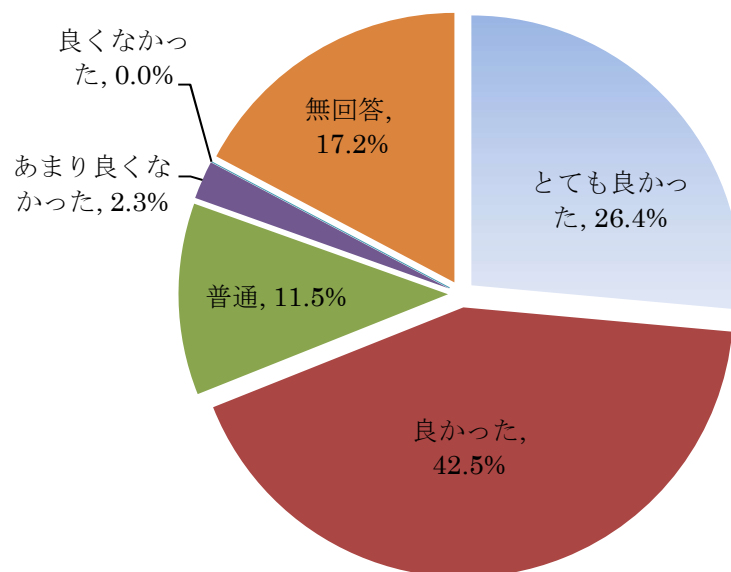
【住 所】

回答選択肢	回答者数	割合
北区	2	2.3%
東区	2	2.3%
中央区	1	1.1%
江南区	1	1.1%
秋葉区	0	0.0%
南区	3	3.4%
西区	75	86.2%
西蒲区	2	2.3%
新潟市外	0	0.0%
無回答	1	1.1%



問2 本日の講演会はいかがでしたか。

回答選択肢	回答者数	割合
とても良かった	23	26.4%
良かった	37	42.5%
普通	10	11.5%
あまり良くなかった	2	2.3%
良くなかった	0	0.0%
無回答	15	17.2%



問3 今後、参加してみたい講演会のテーマ等がありましたらお書きください。

- ・孤独死の実態から見える孤立予防対策について 【60代・女性】
- ・北区の活動だけでなく、各区の地域活動も知りたい。 【40代・男性】
- ・今回のようなテーマ、今やっていることに関心のある内容はありがたいです。参加意欲も出ます。 【70代以上・女性】
- ・地域と公的機関（社協）、大学等とのカフェ形式でのグループワーク 【30代・男性】
- ・先日「少女の性の商品化」についての研修会に出席していろいろとショックな話を聞き、大変いろいろと考えさせられました。民生委員に限らず学校関係、福祉関係の方々には是非、一度こういう問題に関わる話を聞いておいてほしいと思いました。 【70代以上・女性】
- ・体の不自由な方の暮らしやすいまちづくり。また、体の不自由な方と出会った場合の具体的な手助け（対応）方法 【20代・男性】
- ・もっと具体的に、地域、地縁組織が何をすればよいかを教えてほしい。今回は抽象論では。 【60代・男性】
- ・孤独死を防ぐための学習会、子どもの貧困問題など。ごみ屋敷、セルフネグレクトなどの問題 【30代・女性】
- ・認知症予防と認知症になりにくい地域づくり 【50代・男性】
- ・介護予防事業について 【30代・男性】
- ・認知症の講演 【70代以上・男性】
- ・一人で生きていくための健康と精神のお話 【70代以上・女性】
- ・地域の具体的な活動について聞いて、参考にしたい。 【60代・性別不明】
- ・これからの超高齢化社会を迎えて、やはり介護・福祉関係のテーマを望みます。 【60代・性別不明】
- ・新潟市の「福祉の概観」（全体像） 【70代以上・男性】
- ・市民活動の現状 【50代・男性】
- ・大切なことは切り口を変えて、何回かシリーズ版で研修を行うことができると思います。よろしくをお願いします。 【60代・女性】
- ・この課題について、継続してやってほしい。 【70代以上・女性】
- ・福祉と医療について 【40代・男性】
- ・西区の地域の特色と地域包括ケアシステムとの関係性 【60代・性別不明】
- ・今後も同様な講演会を聞いて参考にしたい。 【60代・男性】
- ・同じテーマで取り組みが進んだ段階でのお話を聞いてほしい。 【50代・男性】
- ・介護予防の内容、医療・介護の連携 【50代・性別不明】

- ・一人暮らしになって身体が不自由になり、自分で生活できなくなった場合、老人ホームということになります。高額な費用がかかると言われています。年金にもそれぞれ差があります。どんな人も平等に生きたいと思います。安心した生活ができるようなテーマがありましたらお願いします。 【70代以上・女性】
- ・市政だより等を見ながら参加したいと思っています。 【70代以上・男性】
- ・要支援1,2の方々の支援づくりを具体的にどうするか。 【70代以上・女性】
- ・包括事業で自治会の支援のやり方の話などを聞きたい。 【70代以上・男性】

問4 ご意見、ご感想、ご質問がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・渡邊先生の実践的なお話、本当にありがとうございました。地域が異なってもやはり共通する課題があり、参考になります。つなげてゆくこと、HUB機能⇒色々な活動をされているすばらしいグループ（サークル）同士のもっと交流が必要ですね。 【50代・性別不明】
- ・地域の現状とか、周りに何があるのか、ケアはどの程度で受けさせてもらうことができるのかわからない。もっと地域に興味を持つ事が大切なんだってわかりました。周りにどういう人が住んでいるかわからないし、プライバシーで知られたくないこともあるので、考えることがいっぱいあります。 【70代以上・女性】
- ・すぐ地域で取り組めるアイデアがほしい。もっともっと具体的なもの（予算なしで）。集会所もないのどこです。市は考えてほしい。歩いて行ける公民館もない。文字が見えない。大きくして。画面、プリントともに。横文字など、年寄には理解しにくい。 【70代以上・女性】
- ・このような講演会に参加することが少なかったため、これからの生活により指針となると思いました。 【70代以上・女性】
- ・本日の講演会は非常に良かった。帰ったら参考にして地域づくりに生かしたい。 【70代以上・男性】
- ・高齢化の中で専門的なケア、医学の支援を地域ボランティアに置き換えるのではなく、補完する仕組みが大切と思うが、地域の全世代に関心を持ってもらうことのためには、地域に出された困った事例を解決していくことの中で、システム化すると考えます。 【60代・女性】
- ・これから進行していくであろう高齢化時代、行政がやるべき課題を地域でやりなさいと言われても不可能と思える。少子化の時代を解消するには、少なくとも働く人すべてが正社員で生活に「ゆとり」が持てるようにならないといけないと思うのですが。 【60代・男性】

- ・具体的な内容がイメージできなかった。 【60代・男性】
- ・地域福祉推進の担い手は住民。関心を向けるには確かにそうだと思うがまだまだ道のりは遠いと思う。 【50代・性別不明】
- ・地域での活動を構築し、体制ができると関係性ができ、顔なじみになり、孤独から脱却できる。また、災害の時など、安否確認や協力して何かするなど日頃から構築した基盤ができていれば、必ず役に立つのですばらいいと思う。（地域がまとまれば犯罪にもならず防犯にも役立つ） 【40代・東区】
- ・だれもが年をとっていくので、人ごとではなく、地域との関わりを大切にしたいと思いました。 【60代・女性】
- ・「地域の茶の間」、「友愛訪問」をやり、自治会、ボランティアで活動していますが、現在を正しく評価し、さらによりよい支えあい、福祉のまちづくりにするための、たくさんのヒント、助言をいただきました。今後、話し合い、具体化へつなげたいと思いました。「課題」が見つかり嬉しかったです。ありがとうございました。 【70代以上・女性】
- ・住民主体は望ましいですが、地域からの声を拾ってくれる所がないように感じる。 【30代・男性】
- ・町内会・自治会は1年ごとに人が変わるので見守りが難しいのでは？買い物等はお金がかからむので難しいのでは？ご当地ケアは小学校区でいいのでは？いろいろな関係者がかわるとき、個人情報の問題が起こるので。 【60代・性別不明】
- ・カタカナ語はなかなか理解できないのがありますので、わかりやすい言葉を使ってもらいたい。 【70代以上・性別不明】
- ・理論的より、実践に基づいて話してくださるとわかりやすいと思います。 【70代以上・女性】
- ・福祉のまちづくりのお話は、日本全体の取り組み、地域の取り組み・・・とてもよく説明していただき、ありがとうございました。 【60代・女性】
- ・学問的な講演は難しいし、もういいのでは。学問でなく実践（具体的な）。学問的には理解できても、実践でどうするか。今回の講演は行政の方を対象としたらよい。一般論はもういいと思う。 【60代・男性】
- ・高齢者を地域で支える実践例を渡邊先生からお話ししていただけると、前半の西区の孤立ゼロ作戦訪問事業の報告と結びつけられるのではないのでしょうか。内容がむずかしい講演でした。 【70代以上・男性】
- ・先生の話はわかりやすくて、ためになりました。 【70代以上・性別不明】
- ・サロン・お茶の間などでの会話の中から困りごと、いろいろなニーズに伝えていくということ、参考になった。 【60代・女性】

- ・大げさな活動ではないが、茶の間に参加して町内の人とのふれあいから、友愛訪問をして、どういう方が住まわれているかが、少しずつ理解できるように思いました。
【70代以上・女性】
- ・西区内でも公共交通手段がないので参加しにくい。
現在、茶の間、友愛訪問等に少しばかり関わっていますが、見守られる側の視点も十分考えながら継続していきたい。
【70代以上・女性】
- ・役所の縦連絡はよいようですが、横の連絡も重要だと認める。西区に必要。
【60代・男性】
- ・難しかった（実践となると）。
近所付き合いの薄い時代でケアシステムの構築は難しい。
【70代以上・女性】
- ・「ご当地ケア」、この言葉は初めて聞きました。この言葉の中にはたくさん、広範囲の内容が込められていて、とても誰にも通じる言葉だと思います。これから私たち一人一人がこの「ご当地ケア」を心に置いて行動してまいりたいと思います。
【60代・女性】
- ・具体的な例をあげられて話があったのでよかったと思うが、根本的な地域包括ケアシステムのことが、（私自身）ぼんやりとしているため、漠然としか講演が聞けなかった。
【60代・女性】
- ・電球の付け替えやごみ出しなど、突発的なものであれば地域の住民ボランティアに期待できると思います。新総合事業への移行に伴い、生活支援サービスを住民ボランティアに任せることには反対です。先生の話にあった「ニーズ、課題を目に見える形にする」というマップづくりが必要であると思いました。住民の方の率直な意見を聞いて良かったです。
【30代・女性】
- ・「縦断調査」の結果は大変参考になった。
行政の視点での「地域包括ケアシステム」とは異なる、より細かい「地域包括ケアシステム」を知ることができました。
【30代・男性】
- ・要支援1, 2, 要介護1, 2が介護保険からはずれると言われている中、孤立のない社会づくりの大切さがよくわかりました。
【50代・男性】
- ・本日はありがとうございました。
【30代・男性】
- ・見守りは「当事者が主役になる」という考え方、参考になりました。
【60代・年齢不明】
- ・渡邊先生のお話は大変参考になりました。まとめて述べられた中で、支え合いシステムの構築には相手方のことを考えて行うという話をされたことがすごく心に残りました。
ありがとうございました。
【60代・年齢不明】
- ・「地域包括ケアシステム構築」の考え方、手法、参画の方法がわかりませんでした。なるほどといったヒントを得ました。
【70代以上・男性】
- ・このような講演会をどんどんやってほしい。
【50代・男性】

- ・大変よい視点での講演でした。人、自治会基本、全世代等、有益な視点を語っていただき、これからの地域づくりに活かしていきたいと思います。ありがとうございました。
【60代・女性】
- ・「地域包括ケアシステム」について、どのような取り組みがあるのか理解できた。実際にどのようにすればよいか、我が町内のことを考えると難しいことだが、何とかすこしずつ、時間をかけてやっていくよう、町内の中で働きかけていきたい。
最後に様々の方からご質問があり、参考になりました。 【70代以上・女性】
- ・西区として、このテーマでやったことは大変良かった。 【60代・男性】
- ・細部にわたってのお話は大変良かったと思います。ただ、私の中で消化するには少し時間が必要です。ありがとうございました。 【70代以上・女性】
- ・とても話がまとまっていて参考になりました。 【50代・女性】
- ・本日の講演は包括ケアシステムでも、どの役割を誰がするか？との話もありましたが、現在では高齢者が高齢者を助けるという状況になっております。若い働いている世代が協力していくことは非常に困難であると思います。 【40代・男性】
- ・訪問調査から地域住民が求めるニーズが見えてきました。このアンケートが福祉サービス、行政サービスにつながらないと全く意義がないと思います。
孤立を未然に防ぐことは重要です。
アンケート結果が支援に取り組みされていることが理解できました。
(質問) ・主観的健康感とはなんですか？
・要介護者がなぜ対象外なのですか？ 【60代・性別不明】
- ・民生委員ですが、今も自治会に出ていろいろな行事に参加していますが、なおも多くの方に出てきていただける行動に重きをおいていきたいと思います。 【60代・女性】
- ・私の自治会では、毎月第2,第4水曜日「ひつば」を開催しています。そこには毎回30人くらいの特に女性の参加が多いのですが、男性の参加と言ったら、ほとんど1人か2人です。男性の参加をいかにして増やすかが大きな問題にもなっています。
主に参加される男性の感想を聞きますと、①酒がない②自分の趣味と合わない③カラオケがない等という意見もありました。 【70代以上・性別不明】
- ・地域包括ケアシステムについてわかりやすい解説をしていただき、勉強になりました。
【60代・男性】
- ・テーマに沿った内容で非常に参考になった。高齢者の支援は地域で支える必要性を痛感。問題点を具体的に洗い出すことに期待。協働の考え方に共感した。 【60代・男性】
- ・地域包括ケアシステム構築に対する地域での取り組みの重要性が理解できた。「地域の力」を引き出すか感じた。 【70代以上・男性】

- ・渡邊教授の講演内容にとっても興味ある内容だった。

（例）地域づくりの全体像

活動の具体例, アンケート, 楽市

【60代・男性】

- ・地域づくりについて講習で何が必要かわかりましたが, 行政の広報とマンパワー, リーダーシップが必要です。参加しやすい組織を作ることが大事である。 【60代・男性】

- ・パネルディスカッション方式はどうでしょうか。(行政, 医療機関, 介護事業者, 社協, ボランティア団体, 自治会の代表者など。コーディネーターは渡邊先生)

【50代・男性】

- ・実践体験の発表がよいと思う。大学の授業で活用してほしい。【70代以上・性別不明】
- ・民生委員という立場上, これから私のやるべきことが少し見えてきたような気がし, とても参考になりました。 【60代・女性】

- ・参考になりましたが, 言葉が難しく理解しにくい内容でした。最後の質問の時間の話がよかったです。質問の時間を多くすると疑問等が1つでも2つでも解決できるので, 本日は多くの質問に答えていただいてよかったです。 【60代・女性】

- ・「福祉のまちづくり」という講演やパンフレットなどは, 以前からあると思うが, 具体的に自分の地域でどのようなことが行われているかわからない。

渡邊先生の講演の中で, 北区の中で, 交通(おらってのバス)など, 地域に根差した活動は素晴らしいと思うし, 西区でも今後考えていただきたい。 【70代以上・女性】

- ・社協などの活動が少ない。

【70代以上・男性】